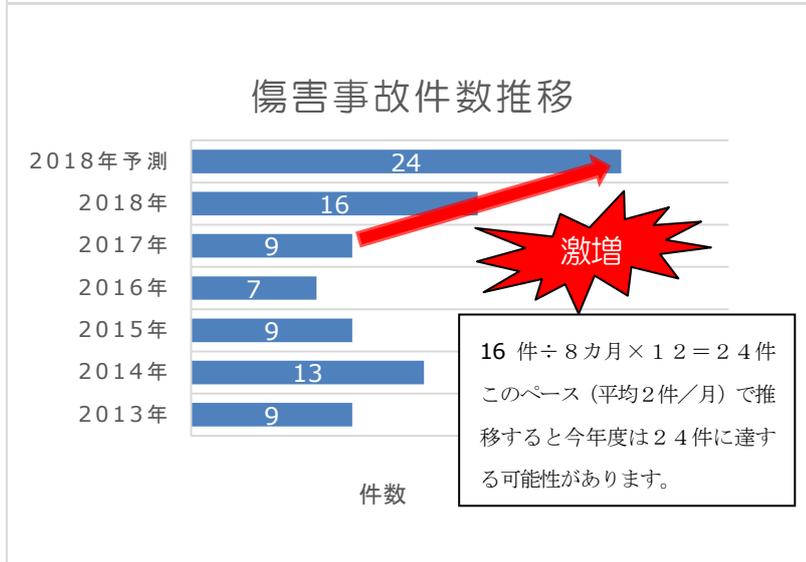
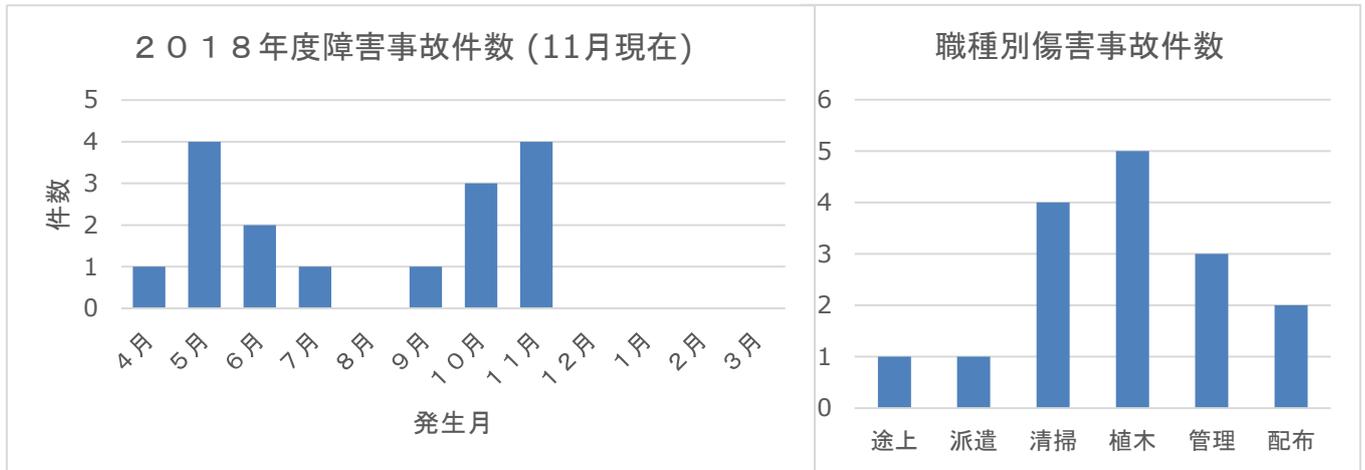


安全はすべてに優先する。事故の未然防止に向け取組強化

## 10・11月事故件数急増！ みんなで注意力を高めKYを！



**緊急事態！ 事故 事故多発！** STOP

会員のみならず、わが八王子市シルバー人材センターで事故が多発しています。5月に4件、4月・6月の高1件を加えて2、5ヶ月で6件、1ヶ月2、4件の割合です。このペースで行くと、1年で30件近くになってしまいます。昨年は年間で9件(密集)でした。

種別	日時	事故内容
学校施設管理	4/10	いすに足をぶつけ数血症を引き起こす。
市公配配布	5/12	配布中足の付け根を次に絞まれる。
市施設清掃	5/28	開閉きの引戸を清掃中、急に引戸が閉まり、指2本挟まれた。
植木手入れ	5/24	刈り込み機を手から滑りし足の指を骨折。
植木手入れ	5/29	溝間で機を足から滑りし、足指に刺された。
植木手入れ	6/12	植木手入れ中脚立から落下。手首を骨折、緊急入院。

日頃から体調に注意して自分の健康管理に気を配りましょう！

**事故を無くして充実した就業を！！**

がなみに東京都全体でも事故件数が最近増えていると、東京都として財団から注意喚起の連絡が緊急で来ています。就業にあたって何か不安がある場合は、リーダーやセンターに連絡を取ってください。

公益社団法人 八王子市シルバー人材センター  
同 安全管理委員会  
☎942-626-1274

八王子SC事故件数急増です！ グラフをご覧ください。  
5～6月に大きな山があり、このとき全会員宛に注意喚起のチラシを配布しました。  
10～11月に更に大きな山が来ました。このままで推移するとH30年度は24件に達することになりそうです。年度別の件数を見ても急増しています。  
職種別のグラフもご覧ください。新たに派遣も加わりました。  
重大事故は別として、大部分が注意が不足していたのが主な原因です。自分の行動で次に何が起るか、現状で次に何が起るかを考えるのがKY(危険予知)です。全会員がその意識を持って行動されますようお願いいたします。事故ゼロへ向かってみんなで頑張りましょう。

## 最近の事故状況（一部抜粋）

職種・発生日	事故内容	原因・対策
施設管理 4/10	就業中積んであった椅子に右足内側くるぶしをぶつけ打撲したものの。打撲から蜂窩織炎→敗血症で入院。	①注意して歩行する。②日頃の健康自己管理。
市広報配布 5/12	ポストに投函後、戻って隣の家に行こうとしたところポストの支柱に縛ってあった秋田犬が急に右足付け根に噛みついた。	①犬がいることを知っているながら注意しなかった
植木手入れ 5/24	刈込ばさみを持って移動中、誤って落としたりしたところ、柄の部分が右足人差し指に当たり骨折したものの。	移動時の注意不足
施設清掃 5/28	両開きの引き戸を清掃中に、引き戸が急に閉まり中指・薬指を挟んだもの。	ストッパーをするなど、急に閉まらないようにするための注意不足。
植木手入れ 5/29	センター主催植木剪定講習会で椿・サザンカ剪定中、腕を茶毒蛾に刺されたもの。	サザンカが茶毒蛾が多く発生する木という注意が足りなかったもの
植木手入れ 6/13	一緒に作業をしていた会員の話では少し離れた場所で声が聞こえたので振り返ったところ脚立から落ちていた。その後本人との面会者には事故前後の記憶が全くないと述べた。	②日頃の健康自己管理。
途上 6/19	6/19の定時社員総会后、自転車に乗ったまま車道から歩道に上がろうとして、後輪が縁石で滑った際にバランスを崩し左側に転倒し左足ひざを強打したものの	車道から歩道に上がる位置の状況確認不足。
施設管理 7/24	カーテンを開けたところ、スズメバチがカーテン下の廊下にいることに気がつかず踏んでしまい、右足親指を刺されたもの	状況確認不足
施設管理 9/2	下りの階段を降り、濡れた地面に左足をつけたところ足が滑り転倒し、その際左足に体重がかかり、左足首を骨折したものの。	濡れた地面の状況確認不足、着地時の体勢のバランスを考えておく。
施設管理 10/1	立木の枝を鋸で切れず、近くにあった棒で叩き落とそうとしたところ棒が半分に折れ頬に当たったもの。	無理な操作／次にどうなるか考える
市公報配布 10/12	広報配布中、狭い階段で投函後濡れた階段に足を取られバランスを崩して滑り落ち右側臀部及び脛を打撲	状況への注意不足／次にどうなるか考える
ビル清掃 10/17	空き缶に両足で乗り潰していたが、空き缶が動き足を掬われた状態で顔面から転倒。手をついた右手中指を打撲。	状況への注意不足／次にどうなるか考える
植木手入れ 11/13	脚立で植木の剪定中。バリカンで刈り込むため脚立を移動しようとしたができず、左手で枝を引き寄せ右手をのばし刈り込をしたところ誤って左手薬指を切ったもの。	無理な操作／次にどうなるか考える
派遣（仕分け・積み込み） 11/13	荷物を載せる籠ラックに乗り荷物のバーコードを確認中、降りるときに足元に段ボールがある事に気づき避けようと飛び降りたところ体勢を崩し右胸部から落ちたもの。胸部骨折。	状況への注意不足、無理な操作／次にどうなるか考える

## 「いつまでも健康であるためのちょっとしたコツ」講習会の開催

会員の皆様がいっまでも健康で元気に活動できるよう以下のとおり講習会を企画しました。

講習会では市の保健師、管理栄養士の方に講師をお願いし、生活習慣や日常の様々な場面での健康に関するちょっとしたコツをお話しいたします。

就業中の事故防止はもちろん、いつまでも健康で元気に生き生き暮らしていくための参考にさせていただきたいと考えていますので、奮って参加をお願いします。

〈開催日時〉平成31年3月14日（木）午後2時から午後4時

〈開催会場〉八王子商工会議所4階ホール（大横保健福祉センター東側）

〈募集人員〉先着50名

〈申込方法〉電話にて事務局担当の山下までお願いします。（☎626-1274）

## KYって聞いたことがありますか？

KYとは、危険(Kiken) 予知(Yochi)の頭文字です。

災害を防止するには、皆さんが作業を始める前に、「どんな危険が潜んでいるか」を洗い出し、「これは危ないなあ」と危険のポイントについて認識し、対策を決めて行動することが重要です。

下の図は、「清掃作業・家事援助作業」の例です。

台所・トイレでの破損・ケガなど 図の中に潜んでいる危険な状態や予想される危険を洗い出して、それぞれ留意すべきポイントを考えてくみてください。

次のページに主な危険事象と具体的な対策案の解説があります。

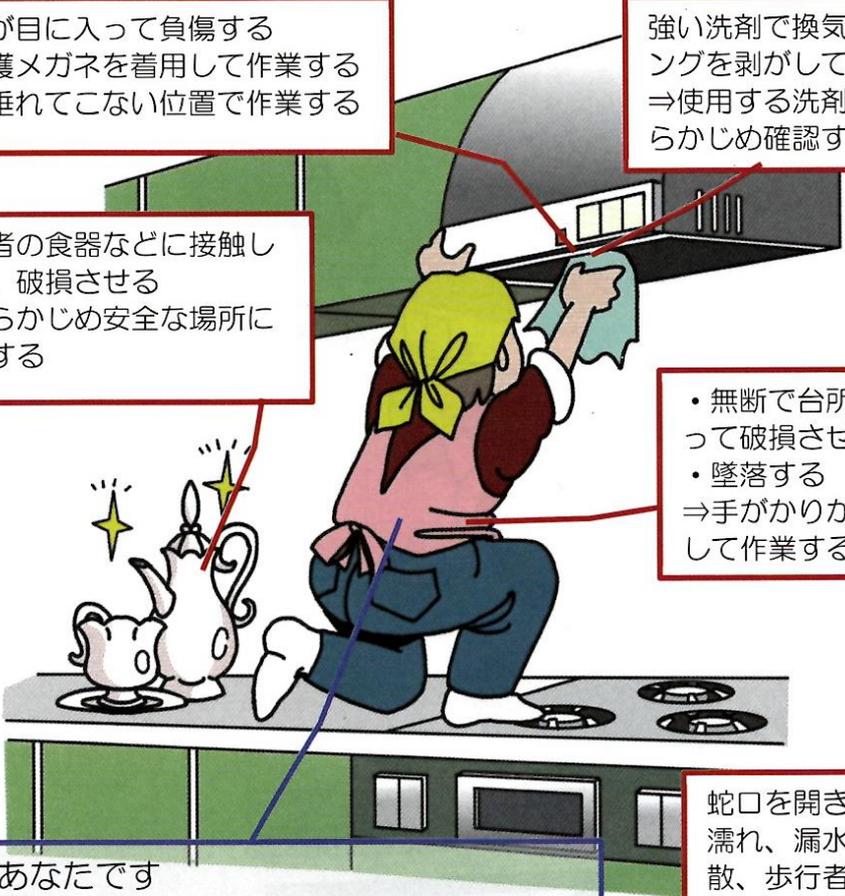


洗剤が目に入って負傷する  
⇒防護メガネを着用して作業する  
目に垂れてこない位置で作業する

強い洗剤で換気扇の内壁コーティングを剥がして傷をつける  
⇒使用する洗剤が強すぎないかあらかじめ確認する

発注者の食器などに接触し落下、破損させる  
⇒あらかじめ安全な場所に移動する

・無断で台所、ガス台に上がって破損させる  
・墜落する  
⇒手がかりがある脚立を使用して作業する



あなたです  
予想される危険を想定してください

蛇口を開きっぱなしで床の水濡れ、漏水、歩行者への飛散、歩行者の転倒のおそれ  
⇒使用後は確実に水を止める



ナイロンたわしや汚れた雑巾で便器に傷をつける  
⇒清潔な雑巾など、傷がつきにくいものを使用する

掃除中にバケツにつまずいて転倒する  
⇒掃除中に接触しない安全な場所に移動する

(東京都シルバー人材センター連合 東京しごと財団作成の「事故防止対策集(障害・障害)」から)